グアテマラ月報（2022 年２月）

2022 年 8 月 19 日
在グアテマラ日本国大使館

公開情報のとりまとめは以下の通り。

１　内政

（１）マリオ・ブカロ新外務大臣の任命
　１日、ジャマテイ大統領はマリオ・アドルフォ・ブカロ・フローレス新外相を任命した。

（２）移民法の改正
　１日、国会は移民法の改正を承認し、これによりコヨーテなど人身売買犯罪者への罰則が厳格化した（懲役刑１０年から３０年、違法移民支援１人につき罰金１０万から２０万ケツァル等）。

（３）司法キャリア法の改正
　２日、国会は司法キャリア法の改正を採択し、これまで司法機関（OJ）の司法キャリア委員会が権限を有していた裁判所判事・裁判官の人事権を、最高裁へ与えることを許可した。これにより、最高裁が全ての裁判官・判事の人事権を握ることとなった。

（４）シトゥムル判事の不逮捕特権剥奪
　９日、最高裁判所は検察庁からの請求を受け、パブロ・シトゥムル判事の不逮捕特を剥奪した。パブロ・シトゥムル判事は、ロクサナ・バルデッティ元副大統領に対し、大型汚職事件への関与により１５年の懲役刑を科した人物。

（５）グアテマラ無処罰問題対策委員会（CICIG）及び検察庁無処罰問題対策専門局（FECI）元職員の起訴および逮捕
　１０日、FECIは、「司法の掌握と汚職（Cooptacion y Corrupcion Judicial）」事件に関係したとして、シオマラ・ソサFECI元職員やCICIG元職員のレイリー・サンティソ弁護士を起訴及び逮捕した。今回、起訴・逮捕されたり不逮捕特権を剥奪されたのは、過去にCICIGやFECIを通じ政府高官等が関係する汚職案件に職務として携わった元職員や弁護士、反汚職派の判事らであった。サンティソ弁護士はメディアに対し、「自分（サンティソ弁護士）の逮捕は報復である。自分は犯罪行為をしていない。逃げることなく、自分への裁判プロセスに立ち向かう勇気をもってここにいる。」と発言した。
　これに対し、ブライアン・ニコルズ米西半球担当国務次官補は、「これまで汚職と闘ってきた、また今現在闘っている判事らに対するポラス検事総長のアクションは、汚職・無処罰との闘いに取り組む責任ある個人への脅迫と復讐であり、これはグアテマラの法の支配を弱体化させる行動である。」と非難した他、グテーレス国連事務総長や欧州連合

（EU）は、懸念を表明した。
１６日、新たにFECIの職員及び元職員４人への逮捕状が発出され、うち２人が逮捕された。これを受け、ネッド・プライス米国務省報道官が「透明性を促進し無処罰と闘う人達を攻撃する検事総長とは？」とツイッターで発信し、報道官名の非難声明を発出した。

（６）ジャマテイ大統領の汚職疑惑に関する海外報道
１４日、エルサルバドルのデジタル新聞エル・ファロは、ジャマテイ大統領とベニート元通信インフラ住宅大臣（2018-2020年モラレス前政権時）による大統領選挙時の裏取引について、ジャマテイ大統領に近い人物「証人Ａ」がリークした内容を報道した。
これを受け、１５日、グアテマラ政府はプレスリリースを発出、また１６日にはポラス検事総長がビデオ・メッセージを発出し、ジャマテイ大統領とベニート元大臣の関係を否定した。

（７）2021年、不法移民の送還者数
2021年、米国及びメキシコから中米北部三カ国へ送還された未成年者は、前年より９２％増加し2.3万人（2020年は1.2万人）であった。2021年送還者数は12.5万人で前年より３４％増（2020年は9.3万人）、うちグアテマラ人は6.3万人であった。
他方、2016年から2021年にかけて不法移民数は279％増加した。コヨーテは、不法移民１人あたり、最もベーシックなプラン７千～１万米ドル、最も高いプラン約2.5万米ドルを請求。グアテマラ人は米国にいる家族がコヨーテへの支払いを援助することが多く、コヨーテにとって都合の良い顧客となっていた。

（８）エスクイントラ県南西部での地震
１６日未明、エスクイントラ県南西部にてマグニチュード6.2の地震が発生。地滑り等による道路被害（１２カ所）及び一部物的被害があったが、甚大な被害の発生は報告されなかった。在留邦人にも被害はなかった。

（９）人権擁護官選出プロセスの開始
１５日、国会は人権擁護官事務所（PDH）の人権擁護官を選出するためのプロセスを開始した。今後、国会議員の３の２の賛成票によって新たな人権擁護官が決定される。新しい人権擁護官は８月２０日就任。

２　内政（新型コロナウイルス関連）

（１）グアテマラの感染状況
検査実施数が少ない週末・祝日の一時的な低下を除き、3,500～4,500 件／日前後を推移した。ワクチン接種率の低い１８歳～３９歳を中心に感染が拡大した。

（２）「アラート信号」システム

期間	赤	橙	黄	緑
1 月 24 日～2 月 6 日	71 市	127 市	142 市	0 市
2 月 7 日～20 日	181 市	85 市	74 市	0 市
2 月 21 日～3 月 6 日	224 市	112 市	4 市	0 市

注：２０２０年７月２７日から開始された「アラート信号」システムに関する詳細は当館HP（https://www.gt.emb-japan.go.jp/itpr_ja/border20200331.html）を参照。

（３）コマ保健大臣のコロナ感染

９日、保健省はコマ保健大臣がコロナに感染していたことを発表した。なお、既に回復し、公務を開始した。

（４）アラート信号システムの基準の一部改定

１１日、保健省はアラート信号システムのレベル分け基準を一部改定し、12歳以上のワクチン接種率を規準項目に追加した。加えて、屋内活動等の規制内容を緩和し、これにより、これまでよりも多くの人数を収容できることとなった。

（５）学校授業再開

２１日から公立学校の授業が開始された。警戒レベル「赤」でも許可を得ればハイブリット式授業（対面及びハイブリッド）が可能であるが、公立学校のほとんどが基準を満たしていないため再開できていなかった。加えて、学舎の老朽化も課題となっていた（トイレ・水道の整備が十分ではなく、衛生保持が困難なケースも多い）。

（６）ワクチンの期限切れ

２８日、108.1万回分のスプートニクＶ（8,430万ケツァル：約1,095万米ドル）が期限切れとなった。

３　外交

（１）ブカロ外相と台湾ほか各国外相との外相電話会談

ブカロ外相は、２日から１１日までの間に、チリ、パナマ、ニカラグア、ウクライナ、コスタリカ、トルコ、台湾、ホンジュラス、エクアドル、ポルトガル、コロンビア、バチカン市国、イスラエル、スウェーデンの各国外相と電話会談を行った。

（２）フルトン米国務省国際麻薬・法執行局次官補代理の当国訪問

７日から１２日、ハイディ・フルトン米国務省国際麻薬・法執行局（INL）次官補代理がグアテマラを訪問した。ブカロ外相はフルトン米INL次官補代理と会談し、国境を越えた組織犯罪と闘うため、二国間及び地域の取り組みについて協議した。また、フルトン米INL次官補代理は、ポップ米大使と共にグアテマラ廉潔な裁判官協会（Asociacion Guatemalteca

de Jueces por la Integridad：AGJI）と法の支配の重要性について意見交換を行った。
　在グアテマラ米大使館はツイッターで「民主主義の強固さは司法システムの独立性と誠実性次第である。フルトンINL次官補代理とポップ米大使は、ＡＧＪＩと強固な法の支配の重要性に関し協議した。」と発表した。これは、グアテマラ無処罰問題対策委員会（ＣＩＣＩＧ）の元職員であるレイリー・サンティソ弁護士及びエバ・シオマラ・ソサ検察庁無処罰問題対策専門局（ＦＥＣＩ）元検事を、FECIが司法妨害、汚職の容疑で起訴、逮捕した状況下で発表された。

（３）外交団へ内政不干渉を訴える政府プレスリリースの発出
　１５日、当国政府は外務省を通じ、各国へ内政干渉を行わないよう注意喚起する内容のプレスリリースを発出した。本グアテマラ政府プレスリリースには、外交団による如何なる行為や事案を指すのか具体的な記載はないものの、１０日に検察庁無処罰問題対策専門局（FECI）がFECI元職員及びグアテマラ無処罰問題対策国際委員会（CICIG）の元職員である弁護士を起訴したことや、最高裁が反汚職派判事の不逮捕特権を剥奪したことに対する国際社会からの非難声明を念頭に、当国政府は同プレスリリースを発出したものと見られる。

（４）ウクライナ情勢に関する外務省プレスリリース
　２２日、外務省は「ウクライナとロシアの対立」と題するプレスリリースを発出し、ロシアを非難した他、駐ロシア大使を協議のため召還した旨発表した。

４　経済
（１）2021 年１１月の輸出額は 1,227 万米ドルで、前年比＋22.5%であった。主な品目は繊維製品、コーヒー、食用油脂、バナナ、鉄・鋼鉄。輸入額は 2,405 万米ドルで、前年比＋46.5%であった。主要製品は産業原材料・中間製品、燃料、自動車部品。

（２）１月の海外家族送金額は 11.8 億米ドル、前年比で 30.2%増加した。

◇主要経済指標◇	2022 年		2021 年	2020 年	2019 年
	2 月	1 月	12 月		
インフレ率　（前年同月比）	2.98%	2.87%	3.07%	3.21%	3.70%
貿易収支（百万ドル）	△1,088	△1,306	△1,238	△6,692.3	△8,710.9
輸出（百万ドル）	1,292.3	1,212.4	1,310.8	11,514.2	11,170.5
輸入（百万ドル）	2,381.2	2,518.7	2,549.7	18,206.5	19,881.4
外貨準備高　（百万ドル）	20,835.9	20,813.4	20,939.6	18,468.2	14,789
外国からの送金　（百万ドル）	1,262.7	1,180.7	1,512.2	11,340.4	10,508.3
為替レート　（対ドル月平均）	7.71	7.69	7.72	7.72	7.69

（出典：中銀、国立統計院）